↓ ↓Q&A《ステッカー貼付について》よくある質問をまとめました↓ ↓

- Q1 禁煙が義務であることは分かったが、喫煙の要望があったときにどう対応すれば良いか?
- A1 3通りの対応があります。
 - ① 店内禁煙にして屋外で吸ってもらう。
 - ※以下について注意してください
 - 例1) 灰皿が公道にはみ出している
- → 道路占用違反
- 例2) 副流煙が通行人や上階住人にかかる → 配慮義務違反
- 例3)吸い殻のポイ捨て

- →区条例違反
- 例4)禁煙特定区域内での喫煙
- → 区条例違反

①店内禁煙に した場合



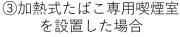
▲店舗入口

- ② 店内に喫煙専用室をつくります。
 - ※喫煙行為のみ可能です。飲食できません。
- ③ 店内の一部に加熱式たばこ専用喫煙室をつくります。
 - ※紙たばこは喫煙できません。飲食できますが、お店全体を喫煙室にはできません。

②喫煙専用室を設置した場合











▲店舗入口

▲喫煙室入口

▲店舗入口

▲喫煙室入口

②③については、専用室が壁・天井等によって区画されていること (ふすまで仕切るなど移動するものは×) また煙が屋外へ排気されていることが必要です。

- ~喫煙室を設置する場合の「技術的基準」について~
- 1 出入口において外側から内側に流入する空気の気流が 0.2m/秒以上であること
- 2 煙が室内から室外に流出しないように、壁・天井等によって区画されていること(ふすまなどの移動するものは×)
- 3 煙が屋外に排気されていること
- 3 は経過措置があります。(2020 年 4 月 1 日に既に存在している建物である場合)
- Q2 加熱式たばこは、紙たばこと扱いが異なるのか?
- A2 異なります。

加熱式たばこ専用喫煙室では、飲食が可能です(喫煙専用室は喫煙以外のことはできません)。ただし、店内全体を加熱式たばこ専用喫煙室にはできず、禁煙席を設けることが前提です。

- ① 喫煙専用室(紙たばこ、加熱式たばこ いずれも可)
 - … 喫煙行為のみ 飲食不可
- ② 加熱式たばこ専用喫煙室(紙たばこ不可)
 - … 飲食可 禁煙席があることが前提 ※店内全体をこの喫煙室にはできない

(裏面あり)

- Q3 従業員を雇用していない家族経営店であれば、店内を喫煙可能にできると聞いた。
- A3 喫煙可能店は下記4条件を満たすことが必要です。

喫煙可能店の4条件(すべてを満たす必要あり)

- ①令和2年(2020年)4月1日以前から開業している
- ②客席面積 100 m²以下である
- ③個人または企業(資本金5千万円以下)の経営である
- ④従業員を雇用していない
- ※20歳未満は営業時間外も立入禁止です。子ども連れの客がいる場合は、

「A1」の対策を検討ください。

経営者が変更になった場合などは、ご相談ください。



▲店舗入口

- Q4 ≪居酒屋≫たばこ販売の許可を取得し、主食を提供しなければ「喫煙目的店」になれると 聞いた。
- A4 一般的な居酒屋は喫煙目的店に該当しません(厚生労働省見解)。居酒屋は飲食が目的であることが理由です。レストラン、定食屋等も同様です。



▲店舗入口

- ~喫煙室を設置する場合の「技術的基準」について~
- 2 煙が室内から室外に流出しないように、壁・天井等によって区画されていること(ふすまなどの移動するものは×)
- ※喫煙可能店・喫煙目的店の場合は、2のみ満たす必要があります
 - ◎ご不明な点はお問い合わせください。

足立保健所 生活衛生課 受動喫煙防止担当

〒120-0011 足立区中央本町1-5-3 2階

電 話:(03)3880-5384

メール: seikatueisei@city.adachi.tokyo.jp

こちらも参考ください (区ホームページQRコード)



ステッカーのダウン ロードはこちらから